

令和6年度 国語科 第3学年 年間指導評価計画

作成者 藤田 結衣

観点： I (知識・技能) II (思考・判断・表現) III (主体的に学習に取り組む態度)

月	単元	学習内容	教材名	時数	観点			評価規準
					I	II	III	
4	一	詩	春に	2	○	○	○	作者の気持ちを読み取り、自分の気持ちを言葉で表すことができる。
4		随筆	立ってくる春	3	○	○	○	文章の種類を踏まえ、展開の仕方に着目して筆者の考えを捉えている。
4		随筆	なぜ物語が必要なのか	3	○	○	○	論理の展開から筆者の考えを読み取ることができる。
4		話す聞く	一言でまとめ一言から広げる	1	○	○	○	話の内容を理解して、具体的なできごとを考えることができる。
5	書写	硬筆	配列	1	○		○	漢字と仮名の調和や配列を理解して書くことができる。
5	一	小説	私	4	○	○	○	内容を読み取り、人間や社会について意見を持つことができる。
5	二	読書	薔薇のボタン	2	○	○	○	読書の意義について理解し、考えを広げたり深めたりしている。
5		話す聞く	構成を考えて主張をまとめる	3	○	○	○	課題を見つけ、展開や構成を工夫して主張をまとめることができる。
6		情報	メディア・リテラシーはなぜ必要か	2	○	○	○	情報を比較したり批判的に読んだりすることができる。
6		漢字	呉音・漢音・唐音	1	○		○	漢字の音の歴史について理解している。
6		文法	助詞	2	○		○	助詞の分類と働きについて理解している。
6	書写	毛筆	行書	2	○		○	点画の連続と変化を理解し、行書で書くことができる。
6	書写	毛筆	行書と仮名の調和	2	○		○	行書と仮名を調和させて書くことができる。
7	三	論説	A I は哲学できるか	5	○	○	○	筆者の主張を読み取り、自分の考えをもつことができる。
7		書く	説明文を書く	4	○	○	○	具体的な事例をもとに、構成を工夫して説明文を書くことができる。
7		漢字	熟字訓	1	○		○	熟字訓について理解し、読むことができる。
7		言葉	和語・漢語・外来語	1	○		○	和語・漢語・外来語の特徴を理解し、適切に使っている。
9		書く	創作俳句	2		○	○	日常生活の中から俳句を作り、適切に批評することができる。
9	四	論説	async—同期しないこと／問いかける言葉	5	○	○	○	文章を比較して読み、自分と他者との関わりについて考えている。
9		書く	批評文を書く	4		○	○	資料を適切に使って、書き方を工夫して批評文を書くことができる。
9		文法	助動詞	2	○		○	助動詞の働きについて理解している。
9		言葉	相手に対する配慮と表現	1	○	○	○	敬語など相手に応じた表現について理解し、適切に使うことができる。
10	書写	硬筆	配列	1	○		○	配列に注意し、様々な文字を効果的に書くことができる。
10	四	情報	情報の編集	1	○	○	○	情報を整理し、目的にそって効果的に使うことができる。
10		実用	実用文を読む	2	○	○	○	文章の特徴を理解し、必要な情報を収集・活用しようとしている。
10	五	古文	旅への思い	4	○	○	○	意味や心情を理解し、歴史的背景に注意して作品を読むことができる。
10		古文	和歌の調べ	4	○	○	○	和歌の技法やリズムを味わい、作者の心情をまとめることができる。
11		漢文	風景と心情	3	○	○	○	形式・大意・歴史的背景を踏まえて漢詩を訓読することができる。
11		言葉	慣用句・ことわざ	1	○		○	慣用句とことわざの働きを理解し、表現の中で使おうとしている。
11	六	言葉	四字熟語	1	○		○	四字熟語についての理解を深め、文章の中で使おうとしている。
11		読書	最後の一句	2	○	○	○	近代の小説を読み、読書の意義や効用を感じることができる。
12		書く	自己PR文を書く	2		○	○	適切な言葉を使い、読み手を意識して文章を書くことができる。
12		話す聞く	スピーチ	3	○	○	○	相手や場に適した言葉を使い、表現を工夫してスピーチをする。
12	書写	毛筆	書き初め	2	○		○	楷書または行書の特徴や配列を理解して書くことができる。
1	六	俳句	俳句の味わい	4	○	○	○	俳句のきまりや表現を理解し、解釈と鑑賞を行うことができる。
1		詩	初恋	2	○	○	○	文体とリズムの特徴を味わい、内容を理解することができる。
1		漢字	異字同訓	1	○		○	異字同訓について理解し、適切に使うことができる。
2		小説	故郷	7	○	○	○	人物像や状況を読み取り、人間や社会について考えることができる。
2	七	総合	持続可能な未来を創るために	3	○	○	○	未来について意見を持ち、話し合ったり文章にまとめたりできる。
2		話す聞く	「対話力」とは何か	3	○	○	○	話し合いを行い、課題解決のために互いの考えを生かそうとしている。
2	書写	硬筆	効果的に書く	2	○		○	学習したことを生かして様々な文字を効果的に書くことができる。
3	八	小説	バースデイ・ガール	2	○	○	○	あらすじや人物像を読み取り、様々な本や文章に関心を持つ。
3		評論	青春の歌	1	○	○	○	短歌の筆者の解釈を踏まえ、問いに対する答を考えている。
3		詩	やわらかな思い	1	○	○	○	「言葉」と「想い」との関係について考えを持つことができる。

時数 計 105